

## 8-4-27 システム改善専門委員会

### 1. 主な活動の記録

#### (1) 活動概要

建設コンサルタントにおいては、エラーの撲滅は最大のテーマであり、成果品のエラー防止のツールとして、協会会員企業の多くが導入しているQMSの有効活用が期待されている。しかし、QMSを運用していく上での課題や問題点も多く顕在しており、また、システムの形骸化も問題視されており、それらを解決することでシステムの効果的な改善に取り組む必要がある。

当専門委員会は、会員企業がQMSを含めたマネジメントシステムを効果的に運用できるよう、有効かつ最新の情報を提供していくことを目的に活動を行っている。

マネジメントシステムの運用の仕方も時代とともに変化してきていることから、社会情勢に応じてシステムを見直していくことも必要であると思われる。

#### (2) 委員会の開催

委員会は11回開催した。

#### (3) 主な内容

平成29年度はセミナーでの要望、意見を参考にしながら、QMSをさらに効果的に運用するための方策について調査・検討を行い、また、ISO55001他のマネジメントシステムの最新の動向を調査し整理を行った。具体的な活動内容は以下のとおりである。

- ・ISO9001：2015の移行の際の問題点やQMSを運用する上での課題等の調査・検討を行った。
- ・QMSの移行に関して、課題や苦勞した点について会員企業にアンケートを実施し、結果を整理した。
- ・ISO55001に関する最近の動向について調査、検討を行った。また、日本アセットマネジメント協会（JAAM）が設立されたことから、今後認証を取得する企業が増加すると思われ、建設コンサルタントとしてどのように取り組む必要があるかについて検討を行った。

・ISO45001等のマネジメントシステムの最近の動向について情報を収集した。

#### (4) セミナー開催

当委員会の主な活動の成果を、平成29年7月に全国9支部で開催された「マネジメントセミナー」で報告した。

なお、会員企業の参考に資するため、セミナーで使用したパワーポイントは協会ホームページに掲載している。

#### (5) 勉強会の開催

建設コンサルタントがアセットマネジメントに取り組むにあたり、最新の情報と今後の展開を知ることが目的に、平成30年2月26日にJAAMの理事である竹末様を講師に迎え勉強会を開催した。

### 2. 次年度の活動について

平成30年度は、マネジメントシステムに関する情報提供を行うことを目的に、以下に示す内容について、情報収集、検討、整理を行い、会員企業に情報を提供する。

#### a) QMSの効果的な運用事例について

昨年度に引き続きQMSを運用していく上で今後改善しようと思う点及びその対応策としてどのように取り組んでいるかを調査し、その具体的運用事例について整理する。事例の収集等については、アンケート調査及びヒアリングを実施する。

#### b) AMSの最新情報の収集について

AMSは認証を受けている企業が増加しており、また、規格がJIS化されたことを受け、社会の情勢が今後大きく変わる可能性もあると思われることから、今後の動向に注視し、会員企業に役立つ情報を提供する。

#### c) 勉強会の開催について

マネジメントシステムの最新の情報を知り、建設コンサルタントとしてどのように取り組んでいくかを検討するために、勉強会を開催する。

セミナーでは、これらの調査及び検討結果についてマネジメントシステムの運用事例を中心に紹介することを考えている。

(システム改善専門委員会委員長 黒木 隆宏)